

リケジョプロジェクト

1年次 東北大学理系学部研究室訪問（オンライン）

11月18日（水）本校視聴覚室において、1年次生の理型希望者を対象に「東北大学理系学部研究室訪問」をオンラインで実施しました。本校では、毎年この時期にリケジョプロジェクトの一環で東北大学の理系学部を訪問してきました。今年度については、コロナ禍の影響で東北大学を実際に訪問することはできませんでしたが、東北大学男女共同参画推進センター准教授の小川真理子先生をはじめ理系学部の先生方、SA（サイエンス・エンジェル）の方々のご協力でオンラインによる研究室訪問が実現しました。

進路希望がまだ明確になっていない生徒も多い状況ですが、今後進路を考えていく上で大変貴重な時間になりました。これからも、学部や学科の研究を幅広く行い自分の進路を選択して欲しいと思っています。

最後になりますが、今回の大学訪問のプログラムをお考え下さった小川真理子先生に心より感謝申し上げます。

<模擬講義>

- 工学研究科 応用物理学専攻 光物性学分野
教授 藤原 巧 先生 … フェルマーの原理（最小時間の原理）について
- 農学研究科 環境適応生物工学研究室
教授 鳥山欽哉 先生 … 遺伝子の機能解明、育種基盤の開発、遺伝子組み換えについて
- 加齢医学研究所 心臓病電子医学分野
教授 山家智之 先生 … 人工心臓、東北大学及び医工学の歴史について

<SAによる研究紹介・進路選択>

- 工学研究科 応用物理学専攻（M2） … 光を使い体温を測定する技術の研究
- 農学研究科 応用生命科学専攻（M2） … ゲノム編集、ハイブリットライスの研究
- 医工学研究科（M1） … 心臓の人工弁の研究



<生徒感想>

私は今まで、研究について、どんなことをテーマにするのかまた、どのようなテーマとするものを見つければいいのかその研究は、どのような事につながっていくのかはほとんど分からないうことが多く、自分で、進路の道を狭めていた。しかし、今日東北大学の方々の話を聞いて、自分の興味のあることや日常で不思議に思っているものなどがテーマのヒントとになっていることを知った。また、SAの方々の話から、大学で研究した事を、もっと学ぶためだったり、生かすことのできる企業やメーカーの就転職につなげることもでき、自分の将来に大きく役立っていることを知った。

私の進路選択は、やはりこの職業から決まっていたので、その職業に就くため大学に行くという認識だった。今日の研究室訪問を得て、自分の学ぶべきことは何なのかをもう一度考えてみようと思った。色々の学部のお話を聞いてとてもおもしろかったし、もっと知りたいことなどが出て来てとても勉強になった。

SAの方々の進路選択を聞いてみて、高校の頃から決まっていた人もいなかった人も、自分の興味が変わって、いろいろなことを学んでいる方が多いということが分かったので、今私が興味をもっている薬学だけでなく、いろいろな分野にも目を向けて、様々なことを体験して、もっと視野を広げていこうと思った。そして自分の将来の選択肢を増やしておき、最終的に職業選択をする際に、後悔しないようにしたい。また、理系学部、学科について、自分が聞いたことのない、知らなかったものもいくつかあったので、この機会に、自分が考えていなかった学部、学科についても調べようと思う。

私が今回の東北大学理系学部研究室で最も興味をひかれたのは農学部についての講義だった。私自身、以前から農学について興味をもっており今回の東北大学の農学部の研究室や研究内容を学ぶことを非常に楽しみにしていた。実際に講義を受けてみると、遺伝子組み換えのイネやゲノム編集などの研究をしており、日本のおよばず世界の食を支えることをしていることが分かった。イネの生産性の向上のために品種改良を行ったり、農業の効率化を図るために発酵したイネを利用したハイブリッドライスを作ったりしていることから、自分が「大学でやってみたいことが想像でき、私も一研究者として研究をしてみたいと思った。